

謹んで初春の
お慶びを申し上げます

診療所だより

第四二八号（1月号）

発行 医）宏友会
上田診療所
酒田市上野曽根
字上中割73番地
TEL.0234-27-3306
責任者 矢島恭一

本年もよろしく申し上げます！

真っ直ぐに 村上 恵美子	大事に生活する 古庄 えり	感謝できる 毎日を過ごす 大井 才代	元気と笑顔と健康で 1年を過ごす 菅原 恵	明るく前向きな 気持ちで1年を過ごす 小松 麻理
穏やかに過ごす 高橋 陽子	「なんとかなるさ！」 の気持ちで 齋藤 タ子	人との繋がりを 大切に 佐藤 真由美	感謝の気持ちを 常に忘れずに 過ごす 小関 智子	新しいことに 挑戦する！ 富樫 絵美
何事も計画的に 池田 萌子	前向きに 穏やかに 平井 裕美子	笑神様と 共に生きる 高橋 麻理	健康第一 マイペースで 森屋 恵	柔らかに過ごす 佐藤 一美
診察の終わりは 笑顔でお見送り 矢島 恭一	笑顔を忘れない！ 土井 尚子	美味しく食べて 身体を動かし 健康的な生活を！！ 伊藤 理枝	5kgダイエット 鈴木 きみ	ステキな笑顔で 過ごせますように♡ 佐藤 真紀

※上段左から順番に紹介

新春特別寄稿

上田の原風景「三つの塔」

島田 良彦

私達が小学校に通う頃、安田の村を外れると学校の手前にコップを伏せたようなコンクリートの塔が見えました。下には土手がまわっていて、水はその中を流れるのです。何も遮るものもなく田んぼの中に有るので、すぐ目立っていて、さらに塔の縁から水が盛り上がってブワ〜と吹き出ているのが県道へ当時〜からも分かり、何の知識もなかった小学生にはふしぎな光景でしたが、下流の水不足のために、北平田の「船止」からポンプアップされて地下を通って送られて来るのだと知るの、もつともつと後の事です。

夏の暑い日に近くの若者たちが泳いでいて、頭だけ二つ三つ見える時がありました。校長先生が朝礼で「絶対、塔に登ったり近くに行つては駄目ですよ」と注意があったことを覚えていました。これは上曽根口と言われ



用水機場土曾根口

上田小学校では田んぼに稲がなくなると、グライダー大会がありました。ロウソクの火で竹ひごを曲げて主翼はヒューム管でつなぎ、そこを少し曲げ紙を張って、機首の板を少しずつ削っては重心を見て、体操場で何度も何度も試して、さて本番は、この水路沿いにあった農道でフックにひもをかけて、足に自信のある子が端を持って走ったものですが、体操場ではあんなにきれいに真っ直ぐ飛んだものが、外では機首がガクンガクンとなつて、思う様には飛んでくれないものでした。今考えると、グライダーは風に向かって飛ぶのに農道は南北についていたからだと思われます。



用水機場吉田口



浄水記念

遊びに行かない川でした。この「船止」からの水を発想し、実現した偉大な方「北村石五郎さん」を讃える碑」が吉田の八幡神社の境内に有ります。碑文によると、「上田、北平田を始め広大な地域に亘り毎年干害甚だしく（中略）献言陳情し倦まず弛まず努力を続ける事二十数年終に報いられて昭和12年5月1日着工15年6月竣功」と刻まれています。



北村翁之碑

三つ目は、吉田の村に有りました。これは村独自の浄水を各戸に配水するための塔でした。飲料水も川の水に頼っていた昔の事、関係機関からの勧めに従い水道の設置をしました。竣功の後に「浄水記念」として施設のあった諏訪神社に碑が建てられています。碑文によると大正2年（一九一三）9月着工、同3年（一九一四）5月完成と有りますが、これは浄水場で「吉田史話」によると、その後昭和28年に高層給水塔を設置して、各家庭に給水したとあります。現在これら三つの塔はそれぞれ大役を終えて新しい設備に変わりましたが私達年代にとっては懐かしき思い出風景です。（3面下段へ続く）

「いよいよ正念場」

矢島 恭一

最近よく耳にする言葉に2024年問題があります。

これまで時間外労働時間を仕方のないことだと無視してきた業界にも、働き方改革の法律が施行されます。

その一番手が運送業界。コロナ禍で客が減り、運送会社は多くの運転手をリストラしました。他業種に転職した運転手は、なかなか元の業界には戻ってきません。経済活動が回復してきて流通に支障が出ています。

酒田でも、深夜はタクシーや運転代行をする車が全くなくなっていくと聞きます。夜間病院の救急外来で診察が終わり、さて家に帰ろうにも足がありません。結果朝まで病院の待合室で待たなくてはならないという悲惨な現状だそうです。

2024年問題は当然病院の勤務医にも、この法律が適用されます。

そもそも医師には、応召の義務があり、正当な理由がない限り患者さんの診療の求めを断ってはならないという考えがあります。

私たちが、医者になった頃は、日中働いて夜間も当直で働くことは当たり前だと思っていました。研修医制度がない時代のこと、で

経験を数多く積むことを目標にしていたからです。

私も48時間、72時間連続で働いて、時間外手当を貰わなくても当たり前前だと修業時代を送りました。

それがいつの頃だったか、医師といえどもまともな家庭生活をしたいという考え方が主流になってきました。また女性医師が増えてきたことも一因があるように思うのです。法律を作る側も子供の育児や教育は、とても大切なことだと気づいたのです。

では2024年問題に病院の勤務医は、どのように対応していくのか。今のところ名案はないとみています。

病院の医師数を増やすしか解決しないのではないかと思うからです。しかし毎年決まった人数しか医師数は増えませんか。結果は期待薄です。

では開業医はどうでしょう。残念ながら開業医は、一人経営者なのでこの法律は適用されませんが、開業医も家庭を持っている以上、診療以外に子育てや教育をしなればなりません。

酒田の開業医は、現在平均で66歳、さらに高齢化していき5年後、10年後には果たして何人が生き残っているのでしょうか？

私は「生涯現役を貫こう」と開業したので、働き場所があることはとてもうれしいことです。患者さんと話すことも好きなので、こ

れからも働き続けたいと願っています。

ただ昨年病気で入院することが多かったのも、周りの医師からは「無理するなよ」と説教されています。

でも病気をしたおかげで、患者さんの気持ちが痛いほどよくわかる様になり、診療が終わって帰られるときに、握手をして「また次回元気で会いましょう」と声をかけられる。これ程開業医冥利につけることはありません。

この地区には、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットという地区医師会と日本海総合病院を中心とするネットワークがあります。

2024年問題もこのネットワークを機能させ、日中はなるだけ病院医師に負担をかけないように開業医が頑張る。夜間は病院の勤務医に頑張ってもらおうという棲み分けで、乗り切っていくしかないという議論になっています。

さて最後に世界中で戦争が起きていますが、我が国がこの戦乱に巻き込まれないで（私はなくはないと見ていますが）、穏やかな一年になることを祈念してやみません。



そして大勢の人達が関わり、その恩恵に浴した紛れもない上田の歴史の1ページです。



高層給水塔 吉田伊藤武行氏蔵

島田良彦さんは、安田にお住まいの方で、2009年に、『女性飛行士本登勝代と庄内のさきがけ隊』という本を刊行されています。

本登勝代さんは、上田診療所のある上野曾根生まれの方、昭和の初め頃、日本飛行学校に入学し、日本人女性パイロットの先駆けとなった方です。郷土の誇りとなる人物の歴史をご自身で調べ上げ本になさったのでした。

最近お話しする機会があり、「今何かおやりになっていますか？」と伺ったところ、タイムリーなことこの地域の水路のことをまとめている最中だというので、そのダイジェスト版を今年の新春特別寄稿としてお願いすることにしました。（本は令和6年刊行予定）

▶久しぶりに友人とランチ♪
ナポリタン、おいしかったなー♪

▶ヒヤシンスの水耕栽培に挑戦中です！



vestagram



ヘルパー
富樫 絵美



職員が撮ったお気に入りの紹介します★

12月号の答え

- ① 森
- ② 龍

答えは
来月号です♪



脳
トレ

ア
タ
マ
の
体
操



☆次の特産物で有名な都道府県は
どこでしょうか？

- ① すだち・祖谷そば
- ② もみじまんじゅう

- ③ からしレンコン
- ・お好み焼き
- ・デコポン



今
月
の

絵
手
紙



富山市在住の土田芳男さんより
届いた絵手紙をご紹介します。

ほ
ほ
え
み
が
え
し

排泄ケア中に、自分で腰を
グツと上げてもらったことに
お礼を言うと、「いやいや、こっ
ちこそありがどうだなよ」と
言葉を返していただきました。
その温かい言葉に、またお礼
を言い、お互いに何度もお礼
を言い合い笑ってしまいました。
(土井)

お知らせ

＊コロナワクチン接種
1月9日～3月末まで

無料で接種できる期間は3月
末までとなっております。予
約に若干の空きがある場合も
ございますので、ご希望の方
はお問合せください。

＊気温も下がり、体調を崩しやす
い季節です。感染症の拡大予防の
ため、来所される際はマスクの着
用をお願いいたします。

＊雨や雪で玄関付近が滑りやすくな
っております。お足元に十分お
気を付けてください。

編集後記

十二月の下旬からとうとう
雪が降ってきてしまいました。
除雪の日々が始まりますね。
そして一面では新年の抱負を
お披露目です。言葉にすると
身が引き締まります。
(平井)